

第42回十和田市民文化祭

Towada People's Culture Festival



力強い歌声がホール全体を包み込む

10月29日から11月6日にかけて、十和田市民文化センターで第42回十和田市民文化祭が開催されました。

11月3日に行われたオーブニングセレモニーでは、県立三本木高校附属中学校吹奏楽部の皆さんが「上を向いて歩こう」や「ディズニーメドレー」を演奏し、華々しくオーブニングを飾りました。

その後、「舞と躍動」と題しカントリーラインダンスやバレエ、フラダンスなどが行われました。

5日は「洋楽・邦楽の調べ」と題し、琴の演奏や合唱が行われ、訪れたかたは演奏者が奏でる音色に聞き入っていました。

最終日の6日は「吟詠」や「謡と仕舞」、「管弦楽・吹奏楽」の演奏が行われるなど出演者は、日頃の練習の成果を堂々と発揮し、会場からたくさん拍手が送られていました。

また、期間中は手工芸や盆栽などが展示され、訪れたかたの目を楽しませていました。



▲被災地の光景を写した写真の展示。あまりの悲惨な光景に息を呑んで見守る観覧者の姿が

ひとりひとりの力が大きなハーモニーを生む



ハーモニカの奏でる音が耳に心地よく響く



情熱的に舞う姿は見る者の心に訴えかけている



しなやかに優雅な舞を見せた日本舞踊



元気いっぱいのカントリーラインダンス

